

平成21年12月期 第2四半期決算短信

平成21年8月13日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 アウトソーシング

コード番号 2427 URL <http://www.outsourcing.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 丸岡 陽太

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 和泉 康一

TEL 054-281-4888

四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年12月期第2四半期の連結業績(平成21年1月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年12月期第2四半期	7,733	—	△374	—	△306	—	△401	—
20年12月期第2四半期	12,195	4.2	528	36.9	552	46.5	311	50.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年12月期第2四半期	△2,940.53	—
20年12月期第2四半期	2,626.58	2,615.64

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年12月期第2四半期	7,049	2,780	37.7	17,908.01
20年12月期	6,051	2,657	41.9	22,524.56

(参考) 自己資本 21年12月期第2四半期 2,657百万円 20年12月期 2,533百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年12月期	—	—	—	644.00	644.00
21年12月期 (予想)	—	—	—	644.00	644.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年12月期の連結業績予想(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,300	0.6	1,150	3.3	1,200	5.7	670	4.5	4,326.24

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 1社 (社名 株式会社アウトソーシングセントラル) 除外 1社 (社名)
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年12月期第2四半期	154,917株	20年12月期	128,220株
② 期末自己株式数	21年12月期第2四半期	6,500株	20年12月期	15,740株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年12月期第2四半期	136,703株	20年12月期第2四半期	118,569株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におきましては、当社グループの主要顧客である国内大手メーカーは、昨年来よりの不況の影響を引き続き受けるものの景気悪化に下げ止まりの兆しが見え、一部では在庫調整の一巡に加え、政府による景気対策の効果等により、保守的に予想していた生産動向を上回ってまいりました。

このような経営環境の下、当社グループでは、当第1四半期においては、生産性向上による売上原価の改善や営業拠点の統廃合等の販管費の見直しにより徹底した収益構造の改善に取り組み、当第2四半期にはメーカーの増産情報により売上向上の体制にシフトいたしました。

しかしながら、景気回復による当第2四半期連結累計期間の実体経済への波及には限りがあったことから、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、7,733百万円（前年同期比36.6%減）、営業損失は△374百万円（前年同期は528百万円の営業利益）、経常損失は△306百万円（前年同期は552百万円の経常利益）、四半期純損失は△401百万円（前年同期は311百万円の純利益）となりました。

（生産アウトソーシング事業）

当社グループの主力事業であります生産アウトソーシング事業につきましては、主要顧客である国内大手メーカーの生産の回復にあわせてフレキシブルな対応が可能のため、活用ニーズは非常に高まってきております。

一方、昨年来の社会問題でもあります派遣切りや格差社会等の影響により、これまでの生産アウトソーシングの活用手段として主流であった製造派遣に対する規制については不透明な状況にあります。

このような環境変化に対応し、生産アウトソーシング事業では、今後予想される政策の動向にも対応する取り組みにより安定したサービスを提供しております。さらに、当第2四半期の6月12日付で、セントラル自動車株式会社の資本参加企業である、株式会社フルキャストセントラル（同四半期7月1日付で株式会社アウトソーシングセントラルに商号変更）を子会社化することで、当業界における最大のマーケットであります輸送機器業界に対して多くの顧客口座を獲得し、今後予想される増産に対しアドバンテージを取っております。

しかしながら、メーカーの本格的増産は第3四半期からであり、当第2四半期への波及は限定的であった為、当第1四半期に受けた顧客メーカーの大減産の影響を、すべて吸収するには至りませんでした。

以上の結果、売上高は7,480百万円、営業損失は△389百万円となりました。

（管理業務アウトソーシング事業）

管理業務アウトソーシング事業につきましては、株式会社ORJにて、メーカーが派遣の抵触日により直接雇用により切り替える社員と増産に対応するために新規に直接雇用する社員の、労務管理及び社宅管理を一括で受託するサービスの提供を行っております。

当第2四半期における急な増産に対し、顧客メーカーが昨今の不況において生産に係る人員を極限まで削減していたため、メーカーが直接雇用した際に管理業務の負担が急増し、利益率が高い同事業の受注が増加いたしました。

以上の結果、売上高は43百万円、営業利益は14百万円となりました。

（介護事業）

介護事業につきましては、株式会社ミストラサービスにて居宅介護支援、訪問介護、訪問入浴介護、通所介護、ホームヘルパー養成研修等の在宅介護サービスを中心とした事業を行っております。介護を必要とする高齢者の方が増加する背景において、訪問介護から通所介護までの各種介護サービスを提供することで、お客様の様々なご要望にお答えできる体制を構築しております。

以上の結果、売上高は135百万円、営業利益は28百万円となりました。

（その他の事業）

その他事業につきましては、株式会社アネブルにて高度なエンジニアリング力を生かし、メーカーの研究開発における部品の試作や、レースを中心とした自動車用高性能部品等の開発製造販売を行っております。

以上の結果、売上高は89百万円、営業利益は7百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末における総資産は7,049百万円となり、前年同期に比べ1,194百万円の増加となりました。これは主に合併による増加1,370百万円及び連結子会社の増加等によるものであります。

負債につきましては、負債合計が4,268百万円となり、前年同期に比べ893百万円の増加となりました。これは主に合併による増加418百万円及び連結子会社の増加等によるものであります。

純資産につきましては、純資産合計が2,780百万円となり、前年同期に比べ300百万円の増加となりましたが、これは主に合併による資本剰余金の増加285百万円及び利益剰余金の増加240百万円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の第2四半期末残高は

1,052百万円となり、前年同期に比べ284百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間における営業活動による資金の減少は158百万円となりました。これは、税金等調整前第2四半期純損失237百万円、仕入債務の減少等によるものであります。

なお、当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は86百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間における投資活動による資金の減少は154百万円となりました。これは、有形固定資産の取得等を反映したものであります。

なお、当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は321百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間における財務活動による資金の増加は138百万円となりました。これは、短期借入の増額等によるものであります。

なお、当第2四半期連結会計期間における財務活動による資金の増加は20百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間までの業績は概ね計画通り推移しており、平成21年8月5日に発表いたしました平成21年12月期の通期業績予想について変更はございません。

当該予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、当該予想数値と異なる場合があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

平成21年6月に株式会社アウトソーシングセントラルの全株式の90%を取得し、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,298,542	784,108
受取手形及び売掛金	1,963,157	2,602,908
原材料及び貯蔵品	84,257	77,936
その他	631,215	373,516
貸倒引当金	△3,322	△2,260
流動資産合計	3,973,849	3,836,209
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	893,603	722,970
その他(純額)	1,257,281	714,304
有形固定資産合計	2,150,885	1,437,275
無形固定資産		
のれん	32,857	273,869
その他	166,577	163,055
無形固定資産合計	199,434	436,925
投資その他の資産	721,122	336,770
固定資産合計	3,071,442	2,210,970
繰延資産	3,813	4,118
資産合計	7,049,105	6,051,298
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,867	12,619
短期借入金	690,296	284,088
未払金	1,268,513	1,546,376
未払法人税等	41,837	267,552
引当金	32,547	—
その他	463,525	448,317
流動負債合計	2,505,587	2,558,954
固定負債		
社債	251,500	270,750
長期借入金	621,912	460,532
引当金	50,947	25,746
負ののれん	721,131	—
その他	117,859	77,420
固定負債合計	1,763,351	834,448
負債合計	4,268,938	3,393,403

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	479,995	479,995
資本剰余金	876,165	590,795
利益剰余金	1,527,128	2,001,545
自己株式	△218,703	△529,599
株主資本合計	2,664,585	2,542,736
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6,731	△9,173
評価・換算差額等合計	△6,731	△9,173
新株予約権	38,688	22,027
少数株主持分	83,624	102,305
純資産合計	2,780,166	2,657,895
負債純資産合計	7,049,105	6,051,298

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)
売上高	7,733,455
売上原価	6,557,789
売上総利益	1,175,666
販売費及び一般管理費	1,550,245
営業損失(△)	△374,578
営業外収益	
受取利息	2,813
受取配当金	117
負ののれん償却額	29,076
持分法による投資利益	7,269
助成金収入	31,412
その他	12,174
営業外収益合計	82,863
営業外費用	
支払利息	12,162
その他	2,725
営業外費用合計	14,888
経常損失(△)	△306,603
特別利益	
保険解約返戻金	75
特別利益合計	75
特別損失	
減損損失	204,329
固定資産除却損	752
特別損失合計	205,081
税金等調整前四半期純損失(△)	△511,609
法人税、住民税及び事業税	22,833
法人税等調整額	△83,397
法人税等合計	△60,564
少数株主損失(△)	△49,065
四半期純損失(△)	△401,980

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
売上高	3,725,944
売上原価	3,037,977
売上総利益	687,967
販売費及び一般管理費	758,892
営業損失(△)	△70,924
営業外収益	
受取利息	1,523
受取配当金	117
負ののれん償却額	21,807
持分法による投資利益	7,269
助成金収入	9,036
その他	7,878
営業外収益合計	47,632
営業外費用	
支払利息	7,069
その他	1,677
営業外費用合計	8,747
経常損失(△)	△32,039
特別損失	
減損損失	204,329
固定資産除却損	752
特別損失合計	205,081
税金等調整前四半期純損失(△)	△237,121
法人税、住民税及び事業税	13,846
法人税等調整額	△14,520
法人税等合計	△673
少数株主損失(△)	△24,880
四半期純損失(△)	△211,567

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成21年1月1日
至 平成21年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△511,609
減価償却費	91,480
減損損失	204,329
のれん償却額	40,469
負ののれん償却額	△29,076
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△815
賞与引当金の増減額(△は減少)	△14,229
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,123
受取利息及び受取配当金	△2,930
支払利息	12,162
固定資産除却損	752
持分法による投資損益(△は益)	△7,269
売上債権の増減額(△は増加)	1,106,678
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,128
仕入債務の増減額(△は減少)	△368,794
未払消費税等の増減額(△は減少)	△163,368
その他	△179,012
小計	180,759
利息及び配当金の受取額	3,028
利息の支払額	△14,122
法人税等の還付額	8,403
法人税等の支払額	△264,814
営業活動によるキャッシュ・フロー	△86,745
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△73,337
定期預金の払戻による収入	54,900
有形固定資産の取得による支出	△349,349
無形固定資産の取得による支出	△1,111
関係会社株式の取得による支出	△129,500
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	152,731
貸付金の回収による収入	6,990
貸付けによる支出	△3,300
敷金及び保証金の差入による支出	△38,362
敷金及び保証金の回収による収入	62,239
保険積立金の積立による支出	△3,645
保険積立金の解約による収入	75
その他	△223
投資活動によるキャッシュ・フロー	△321,894
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	130,000
長期借入れによる収入	80,000
長期借入金の返済による支出	△92,637
社債の償還による支出	△7,500
配当金の支払額	△72,437

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)	
その他	△16,588
財務活動によるキャッシュ・フロー	20,836
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△387,803
現金及び現金同等物の期首残高	591,797
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	848,923
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,052,918

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第2四半期連結会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	生産 アウトソー シング事業 (千円)	管理業務 アウトソー シング事業 (千円)	介護事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,548,314	36,849	100,083	40,696	3,725,944	—	3,725,944
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,950	—	—	—	12,950	△12,950	—
計	3,561,264	36,849	100,083	40,696	3,738,894	△12,950	3,725,944
営業利益又は営業損失(△)	△89,461	15,584	19,507	995	△53,373	△17,551	△70,924

当第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年6月30日)

	生産 アウトソー シング事業 (千円)	管理業務 アウトソー シング事業 (千円)	介護事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	7,463,575	43,960	135,987	89,931	7,733,455	—	7,733,455
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	17,050	—	—	—	17,050	△17,050	—
計	7,480,625	43,960	135,987	89,931	7,750,505	△17,050	7,733,455
営業利益又は営業損失(△)	△389,730	14,708	28,446	7,301	△339,273	△35,305	△374,578

(注) 1 事業区分は、事業の種類・性質の類似性を考慮して行っております。

2 各事業の主な内容

- (1) 生産アウトソーシング事業・・・メーカーの製造工程外注化に対応するサービス及びメーカーの設計・開発・実験・評価工程への高度な技術・ノウハウを提供するサービスを業務請負または人材派遣にて提供しております。
- (2) 管理業務アウトソーシング事業・・・株式会社ORJにてメーカーが直接雇用する社員の、労務管理及び社宅管理を一括で受託するサービスの提供を行っております。
- (3) 介護事業・・・株式会社ミストラルサービスにて居宅介護支援、訪問介護、訪問入浴介護、通所介護、ホームヘルパー養成研修等の在宅介護サービスを中心とした事業を行っております。
- (4) その他の事業・・・株式会社アネブルにてメーカーの研究開発における部品の試作や、レースを中心とした自動車用高性能部品等の開発製造販売を行っております。

3 管理業務アウトソーシング事業及び介護事業につきましては、重要性の観点からその他の事業から区分掲記しております。

[所在地別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年6月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第2四半期連結累計期間 (平成20年4月1日～6月30日)

科目	前年同四半期 (平成20年12月期 第2四半期)
	金額 (千円)
I 売上高	12,195,315
II 売上原価	9,961,696
売上総利益	2,233,619
III 販売費及び一般管理費	1,705,554
営業利益	528,064
IV 営業外収益	306,608
V 営業外費用	6,125
経常利益	552,447
VI 特別利益	—
VII 特別損失	45
税金等調整前四半期純利益	552,502
法人税、住民税及び事業税	216,705
少数株主利益	26,364
四半期純利益	311,431

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

前第2四半期連結累計期間(平成20年1月1日～6月30日)

	前年同四半期 (平成20年12月期 第2四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	552,502
減価償却費	76,641
のれん償却額	23,146
貸倒引当金の増加(△:減少)額	1,506
賞与引当金の増加(△:減少)額	—
退職給付引当金の増加(△:減少)額	3,341
受取利息及び受取配当金	△2,376
支払利息	5,845
売上債権の減少(△:増加)額	△26,885
たな卸資産の減少(△:増加)額	△2,464
仕入債務の増加(△:減少)額	24,286
未払消費税等の増加(△:減少)額	△123,855
その他	△59,361
小計	472,327
利息及び配当金の受取額	2,397
利息の支払額	△6,713
法人税等の支払額	△370,947
営業活動によるキャッシュ・フロー	88,064
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△80,300
定期預金の払戻による収入	24,000
有形固定資産の取得による支出	△58,967
無形固定資産の取得による支出	△19,934
貸付による支出	△4,925
貸付金の回収による収入	4,889
敷金保証金の差入による支出	△27,036
敷金保証金の返還による収入	15,790
保険積立金の積立による支出	△1,164
その他	△1,278
投資活動によるキャッシュ・フロー	△148,656
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増加(△:純減少)額	145,000
長期借入金の返済による支出	△37,920
株式の発行による収入	10,440
配当金の支払額	△58,242
その他	△15,170
財務活動によるキャッシュ・フロー	36,606
IV 現金及び現金同等物の増加(△:減少)額	△23,985
V 現金及び現金同等物の期首残高	792,321
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	768,335

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年1月1日 至 平成20年6月30日）

全セグメントの売上高の合計、営業利益及び資産の合計額に占める生産アウトソーシング事業の割合が、いずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年1月1日 至 平成20年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

6. その他の情報

売上高の取引先業種別内訳は次のとおりであります。

事業の種類別セグメント 及び取引先業種	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	
	金額(千円)	構成比 (%)
I. 生産アウトソーシング事業	3,548,314	95.2
食品関係	873,519	23.4
電気機器関係	1,081,542	29.0
輸送用機器関係	261,643	7.0
化学・薬品関係	810,839	21.8
金属関係	52,996	1.4
その他	467,771	12.6
II. 管理業務アウトソーシング事業	36,849	1.0
III. 介護事業	100,083	2.7
IV. その他の事業	40,696	1.1
合計	3,725,944	100.0

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 事業区分は、事業の種類・性質の類似性を考慮して行っております。
 3 当第2四半期連結会計期間における地域別売上高を主たる地域別に示すと、次のとおりであります。

地域別売上高

地域	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	
	金額(千円)	構成比 (%)
東北・関東	949,529	25.5
東海	1,759,299	47.2
北陸・甲信越	140,161	3.8
近畿・中国・九州	876,954	23.5
合計	3,725,944	100.0

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。